

各位

会社名 株式会社アール・エス・シー
代表者名 代表取締役社長 金井 宏夫
(東証スタンダード・コード4664)
問合せ先 取締役常務執行役員 山口 規
電話 03-5952-7211

ソフトバンクロボティクス株式会社との資本業務提携 及び第三者割当による新株式の発行に関するお知らせ

株式会社アール・エス・シー(本社:東京都豊島区、代表取締役社長:金井 宏夫、以下「RSC」)は、2025年11月14日付の取締役会決議により、以下のとおり、ソフトバンクロボティクス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO:富澤 文秀、以下「SBR」)との戦略的な資本業務提携(以下「本資本業務提携」という。)を行うこと及び割当予定先に対する第三者割当による新株式の発行(以下「本第三者割当」という、また本第三者割当により発行される株式を「本新株式」という。)を決議し、本資本業務提携についての契約を締結いたしました。

I. 本資本業務提携の概要

1. 本資本業務提携の理由

本提携は、当社が掲げる「安心・安全の未来を創る社会インフラ企業」への進化を加速させる重要な施策であり、DX(デジタルトランスフォーメーション)を通じた業務品質の向上と企業価値の最大化を目的としています。

当社は、警備・ビルメンテナンスなど施設管理の分野において、長年にわたり社会インフラを支えるサービスを提供してまいりました。しかし、当社を取り巻く環境におきましては、昨今の人材不足、業務効率化の要請など、複合的な課題に直面しており、これらを抜本的に解決するためには、AI・ロボット技術を活用したDXの推進が不可欠であるとの考えに基づき、経営基盤の強化のため、業務のDX化および技術革新による業務の効率化ならびに生産性の向上を図るとともに、当社が提供している、警備・清掃・設備管理などの施設管理サービスを連携させたワンストップ型のDX提案を、既存顧客および新規顧客に対して提案し、収益構造の改善を図ってまいりました。その取り組みは一定の成果が見え始めているものの、当社は独自商品開発を行っておらず、新技術を活用したサービスの検証については、実証実験を繰り返し、迅速な展開が困難であるという課題がありました。このような課題に対し、よりスピード感を持った、AI・ロボット技術を活用したDXの推進が不可欠であると認識していたところ、当社の株主より2025年3月にSBRの紹介を受け、この課題に対し技術力と実績を有する同社との連携を模索してまいりました。

SBRは、AI・ロボット分野における世界的リーディングカンパニーであり、清掃・警備・物流など多様な業界に対して、先進的なロボットソリューションを提供しています。特に、施設管理領域においては、AI警備による異常検知、群管理による効率的なオペレーションなど、従来の人手に依存した業務を根本から変革する技術力と実績を有しています。

当社は、SBRとの提携により、既存物件へのAI・ロボット導入を加速させるとともに、DX提案機会の拡大を通じて資本業務提携により創出される新規顧客との契約案件を含む、新たに受託する施設管理業務(警備・清掃等)の獲得を目指し、サービスの共同展開を進め、業務品質の向上と人材不足への対策を両立させる新たなモデルを構築してまいります。

資本面においても、SBRは当社の第3位の株主として180,000株を引き受け、持分比率5.89%を保有することとなります。これにより、両社の関係は単なる業務提携にとどまらず、戦略的パートナーとしての位置づけが明確となり、長期的な協業体制の構築が可能となります。今後は、AI・ロボットを活用したDXモデルの実証を通じて、SBRとの連携をさらに強化し、当社独自のサービス展開による競争力の強化を図ってまいります。

本提携は、単なる技術導入ではなく、当社の企業文化・業務体制・収益構造を根本から変革する契機となるものです。SBRの技術力とグローバルな知見を活用し、当社は「選ばれるサービス」への進化を遂げるとともに、持続可能な成長を支える経営基盤の強化を図ってまいります。特に、AI警備による異常検知技術は、従来の警備業務における人的リスクや対応遅

延を大幅に改善するものであり、施設の安全性向上と顧客満足度の向上に直結する重要な要素です。

また、SBRが展開する様々な最先端技術を生かしたサービスの領域においては、AI・ロボットを活用した施設管理の高度化により、SBRが支援した海外ファシリティマネジメント企業において、3年間で急成長をした事例もあり、当社においても同様の成長モデルの構築を目指してまいります。

2. 本資本業務提携の内容等

(1) 資本提携の内容

SBRを割り当て予定先とする本第三者割当により、当社普通株式180,000株を割り当てます。発行後、SBRの当社における持分比率は5.89%となる見込みです。

(2) 業務提携の内容

当社とSBRはAI・ロボット導入によるDX推進について協業することに合意しており、協力体制の構築を進めてまいります。

- ① AI・ロボット導入によるDX推進
 - ② AI・ロボット群管理ソリューションの推進
- 上記①及び②の概要は以下のとおりです。

① AI・ロボット導入によるDX推進

本業務提携の中核となる取り組みは、当社がSBRから調達する先進的なAI警備ソリューションおよび清掃ロボットを、当社が管理する既存のビルや施設に本格導入することです。これにより、従来人手に依存していた警備・清掃業務を高度に自動化し、業務効率の飛躍的な向上とサービス品質の均一化・高度化を実現します。AI警備ソリューションは、異常行動や不審者の検知をリアルタイムで行い、警備員の負担を軽減するとともに、迅速な対応を可能にします。一方、清掃ロボットは、日常的な清掃業務を自律的に遂行し、人的リソースをより付加価値の高い業務へシフトさせることができます。

これらの導入により、当社は顧客に対して「安全性・効率性・省人化」を同時に実現する付加価値提案を強化し、既存顧客の満足度向上とともに、新規案件の獲得や大型プロジェクトへの参入機会を拡大することを目指します。さらに、AIやロボティクスを活用したDX推進は、当社のブランド価値を高め、競争優位性を確立する重要な施策となります。

② AI・ロボット群管理ソリューションの推進

当社とSBRは、AIとロボットを統合的に管理する「群管理ソリューション」の推進を図ります。当社が有する施設管理・警備の運用ノウハウと、SBRが持つAI・ロボティクス技術を融合させることで、次世代型のスマートファシリティマネジメントを実現します。

このソリューションは、複数の監視カメラや清掃ロボットを一元的に制御・監視し、最適な稼働スケジュールや異常検知時の対応指示を自動化することで、運用コストを削減しながら高い安全性と効率性を確保します。両社はこれを活用して顧客向けサービスを展開します。

このAI・ロボット群管理ソリューションの推進により、当社とSBRは単なる製品販売や導入にとどまらず、AI・ロボティクスを核とした新たなビジネスモデルを構築し、将来的には国内のスマートビル市場におけるリーディングポジションを確立することを目指します。

(3) 取締役候補者の指名に関する合意事項

本資本業務提携契約において、SBRから当社への取締役及び監査役の派遣についての合意は行っておりません。なお、当社は以下の理由から、割当予定先に対し、第三者割当の方法により当社普通株式を発行することが、当社の中長期的な企業価値向上に資するものであり、財務基盤の強化を図るには確実性が高い手法であると考え、当社にとって最良の選択肢であるとの判断に至りました。

- ①公募増資による株式の発行やライツオファリング・株主割当のみでは、上記のような当社の中長期的な企業価値向上と、割当予定先との協業を同時に達成できないこと。
- ②銀行借入れ、社債発行及び新株予約権付社債等の負債性のある資金調達手段では、上記で記載した割当予定先との協業によって得られると期待する「業務品質の向上と人材不足への対策を両立させる新たなモデルの構築および独自のサービス展開による競争力の強化」という本資本業務提携で期待する効果を得ることはできないこと。また、本第三者割当のように自己資本比率を向上しつつ、資金調達を行うことが出来ないこと。

3. 本資本業務提携の相手先の概要

本資本業務提携の相手先である割当予定先の概要は、下記「Ⅱ. 第三者割当により発行される新株式の募集

6. 割当予定先の選定理由等(1)割当予定先の概要」に記載のとおりです。

4. 本資本業務提携の日程

(1) 取締役会決議日	2025 年 11 月 14 日
(2) 本資本業務提携契約締結日	2025 年 11 月 14 日
(3) 本第三者割当増資に係る払込日	2025 年 12 月 4 日
(4) 提携開始日	2025 年 11 月 14 日

5. 今後の見通し

後述の「Ⅱ. 第三者割当による新株式の発行 8. 今後の見通し」に記載のとおりです。

Ⅱ. 第三者割当による新株式の発行

1. 募集の概要

(1) 払込期日	2025 年 12 月 4 日
(2) 発行新株式数	当社普通株式 180,000 株
(3) 発行価額	1株につき 653 円
(4) 調達資金の額	117,540,000 円。
(5) 募集又は割当方法（割当予定先）	第三者割当の方法による新株式発行 ソフトバンクロボティクス株式会社 180,000 株
(6) その他	本第三者割当増資については、金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力発生を条件としております。

2. 募集の目的及び理由

(1) 募集に至る経緯及び目的

「I. 本資本業務提携の概要」、「1. 本資本業務提携の理由」に記載のとおり、当社は、警備・ビルメンテナンスなど施設管理の分野において、長年にわたり社会インフラを支えるサービスを提供してまいりました。しかし、当社を取り巻く環境におきましては、昨今の人材不足、業務効率化の要請など、複合的な課題に直面しており、これらを抜本的に解決するためには、AI・ロボット技術を活用したDXの推進が不可欠であるとの考えに基づき、経営基盤の強化のため、業務のDX化および技術革新による業務の効率化ならびに生産性の向上を図るとともに、当社が提供している、警備・清掃・設備管理などの施設管理サービスを連携させたワンストップ型のDX提案を、既存顧客および新規顧客に対して提案し、収益構造の改善を図ってまいりました。その取り組みは一定の成果が見え始めているものの、当社は独自商品開発を行っておらず、新技術を活用したサービスの検証については、実証実験を繰り返し、迅速な展開が困難であるという課題がありました。このような課題に対し、よりスピード感を持った、AI・ロボット技術を活用したDXの推進が不可欠であると認識していたところ、当社の株主より2025年3月にSBRの紹介を受け、この課題に対し技術力と実績を有する同社との連携を模索してまいりました。

当社は、SBRとの提携により、既存物件へのAI・ロボット導入を加速させるとともに、DX提案機会の拡大を通じて資本業務提携により創出される新規顧客との契約案件を含む、新たに受託する施設管理業務（警備・清掃等）の獲得を目指し、サービスの共同展開を進め、業務品質の向上と人材不足への対策を両立させる新たなモデルを構築してまいります。

資本面においても、SBRは当社の第3位の株主として180,000株を引き受け、持分比率5.89%を保有す

ることとなります。これにより、両社の関係は単なる業務提携にとどまらず、戦略的パートナーとしての位置づけが明確となり、長期的な協業体制の構築が可能となります。今後は、AI・ロボットを活用したDXモデルの実証を通じて、SBRとの連携をさらに強化し、当社独自のサービス展開による競争力の強化を図ってまいります。

本提携は、単なる技術導入ではなく、当社の企業文化・業務体制・収益構造を根本から変革する契機となるものです。SBRの技術力とグローバルな知見を活用し、当社は「選ばれるサービス」への進化を遂げるとともに、持続可能な成長を支える経営基盤の強化を図ってまいります。特に、AI警備による異常検知技術は、従来の警備業務における人的リスクや対応遅延を大幅に改善するものであり、施設の安全性向上と顧客満足度の向上に直結する重要な要素です。

また、SBRが展開する様々な最先端技術を生かしたサービスの領域においては、AI・ロボットを活用した施設管理の高度化により、SBRが支援した海外ファシリティマネジメント企業において、3年間で急成長をした事例もあり、当社においても同様の成長モデルの構築を目指してまいります。

(2) 本第三者割当増資を選択した理由

公募増資による株式の発行やライツオフアリング・株主割当のみでは、上記のような当社の中長期的な企業価値向上と、割当予定先との協業を同時に達成出来ず、また、銀行借入れ、社債発行及び新株予約権付社債等の負債性のある資金調達手段では、上記で記載した割当予定先との協業によって得られると期待する「業務品質の向上と人材不足への対策を両立させる新たなモデルの構築および独自のサービス展開による競争力の強化」という本資本業務提携で期待する効果を得ることはできないことから、ファシリティマネジメントDX事業における重要なパートナーとして、SBRと資本業務提携を締結し、第三者割当増資による資金調達を行うことを選択しました。

3. 調達する資金額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

(1) 払込金額の総額	117,540,000 円
(2) 発行諸費用の概算額	6,000,000 円
(3) 差引手取概算額	111,540,000 円

- ※ 1. 発行諸費用の概算額は、弁護士費用、登記費用、有価証券届出書作成費用等の合計額であります。
2. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 調達する資金の具体的な使途

使 途	金額（千円）	支払予定時期
・AI 警備ソリューション「SBX AI 警備」 （1年ライセンス・サーバ・保守を含む） ・清掃ロボット「Whiz」 （ハードウェア+3 年保守）	116,820 千円	2025 年 12 月末

※ 手取概算額と上記見込み額の差額となる5,280千円は、自己資金により不足分を補填する方針です。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

当社は、本第三者割当増資により調達した資金を上記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期（2）調達する資金の具体的な使途」に記載の使途に充当し、当社がSBRから調達する先進的なAI警備ソリューションおよび清掃ロボットを、当社が管理する既存のビルや施設に本格導入することで、従来人手に依存していた警備・清掃業務を高度に自動化し、業務効率の飛躍的な向上とサービス品質の均一化・高度化を実現します。AI警備ソリューションは、異常行動や不審者の検知をリアルタイムで行い、警備員の負担を軽減するとともに、迅速な対応を可能にします。一方、清掃ロボットは、日常的な

清掃業務を自律的に遂行し、人的リソースをより付加価値の高い業務へシフトさせることができます。

これらの導入により、当社は顧客に対して「安全性・効率性・省人化」を同時に実現する付加価値提案を強化し、既存顧客の満足度向上とともに、新規案件の獲得や大型プロジェクトへの参入機会を拡大することを目指します。さらに、AIやロボティクスを活用したDX推進は、当社のブランド価値を高め、競争優位性が確立されるものと考えており、本第三者割当増資の資金使途については合理性があるものと考えております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本新株式の発行価格につきましては、割当予定先との協議の結果、2025年10月14日の東京証券取引所スタンダード市場における当社株式の終値を基準日として基準日より過去1ヶ月間の平均株価を用いて計算した1株653円といたしました。

当社取締役会決議日となる、2025年11月13日の東京証券取引所スタンダード市場における当社株式の終値を基準日とせず、2025年10月14日の終値を基準日として基準日より過去1ヶ月間の平均株価を基準としたのは、調達した資金をAIソリューション及びロボットの購入資金に充当する予定であることから、AIソリューション及びロボットの購入数量を早期に確定・発注を行い、AIソリューション・ロボットへの投資を迅速に進める必要があると判断したためであります。なお、当該発行価格653円は、本第三者割当に係る取締役会決議日の直前営業日である(2025年11月13日)の直前1ヶ月間(2025年10月14日から2025年11月13日まで)の東京証券取引所における当社株式終値平均値648円(単位未満四捨五入。終値平均値につき以下同じ。)、同3ヶ月間(2025年8月14日から2025年11月13日まで)の終値平均値648円、同6ヶ月間(2025年5月14日から2025年11月13日まで)の終値平均値605円を参照し決定しております。

上記発行価格は直近1か月平均値に対して0.77%のプレミアムであり、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」が求める水準(直近1か月平均の90%以上)を満たすことから、当社は、特に有利な発行価格には該当しないものと判断しております。

また、当社の監査役全員から、発行価格が割当予定先に特に有利でないことに関し、当社株式の価値を表す客観的な指標である市場価格が基準とされ、かつ日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」が求める水準に準拠したものであることから、法令に違反する重大な事実とは認められず、上記発行価格が割当予定先に特に有利な発行価格には該当せず、適法である旨の見解を得ております。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当に係る新規発行株式数は180,000株(議決権数1,800個)であり、これに係る希薄化率は、2025年11月13日現在の当社の発行済株式総数2,940,000株に対して6.12%に相当し、令和7年9月30日現在の総議決権数28,055個に対して、6.42%相当の株式の希薄化が生じることとなります。しかしながら、本第三者割当は資本業務提携の一環として行うものであり、上記「4[新規発行による手取金の使途] (2) [手取金の使途]」に記載の資金使途に充当することで、業績の拡大に資するとともに、本第三者割当を通じて当社の資本増強が図られることから、中長期的な株主価値の向上に繋がるものと考えております。

6. 割当予定先の選定理由

(1) 割当予定先の概要

名称	ソフトバンクロボティクス株式会社
本店所在地	東京都港区海岸1丁目7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー
代表者の役職及び氏名	代表取締役社長 兼 CEO 富澤 文秀
資本金	100 百万円
事業の内容	ヒューマノイドロボット・サービスロボットの開発・ 販売・メンテナンスサービスの提供
主たる出資者及びその出資比率	ソフトバンクロボティクスグループ株式会社 100%
出資関係	該当事項はありません。
人事関係	該当事項はありません。
資金関係	該当事項はありません。

技術関係	該当事項はありません。
取引関係	該当事項はありません。
最近３年間の経営成績及び財政状態	★

(2) 割当先を選定した理由

SBRを選定した理由は「Ⅰ. 本資本業務提携の概要」の「1. 本資本業務提携の理由」、「Ⅱ. 第三者割当による新株式の発行」の「2. 募集の目的及び理由」に記載のとおりであります。

(3) 割当先の保有方針

SBRは、当社をファシリティマネジメントDX事業における重要なパートナーと位置付けており、当社株式の譲渡制限を設けておりませんが、短期的に当社株式の売却予定がないことを確認しております。なお、当社は、SBRから、払込期日から2年間に於いて、SBRが本第三者割当により取得した当社普通株式の全部又は一部を譲渡した場合には、直ちに譲渡を受けた者の氏名及び住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価格、譲渡の理由並びに譲渡の方法等の内容を当社に書面により報告すること、当社が当該報告内容を取引所に書面により報告すること、当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することについて、SBRから払込期日までに確約書を取得する予定であります。また、SBRは払込期日以降、当社の株式を追加で取得する場合、又はSBRの保有する当社の株式について第三者に譲渡、承継、移転、担保提供その他の処分をする場合には、取得又は処分についての理由を付した書面を当社に事前に通知する旨に合意します。

(4) 払込みに要する資金等の状況

引受人であるSBRは非上場企業であり、財務諸表等の提供は受けておりませんが、当社との協議において、今回の第三者割当に係る払込みについて、自己資金により対応可能である旨の説明を受けております。当社はSBRが継続的な事業活動を行っていること、ならびに資本業務提携に係る株式引受契約において払込義務の履行が明記されていることを踏まえ、払込みに要する資金または財産を保有していると判断しております。

(5) 割当予定先の実態

SBRはAI・ロボット事業を国内外で展開する企業であり、SBRおよびその役員が反社会的勢力との関係を有しない旨を表明し、保証しております。加えて、以下の方法により、当該会社および割当予定先が特定団体等に該当しないこと、また関係を有していないことを確認いたしました。

- ・SBRの公式ウェブサイトおよび、SBRの親会社であるソフトバンクロボティクスグループ株式会社（同社はソフトバンクグループ株式会社の連結子会社）のコンプライアンス方針を確認し、反社会的勢力との関係を一切持たない旨の記載を確認いたしました。
- ・ソフトバンクグループ株式会社の「反社会的勢力排除に関する基本方針」および企業倫理・コンプライアンス体制に関する公開情報を確認いたしました。
- ・インターネット上の報道記事、企業情報データベース等を検索し、反社会的勢力との関係を示唆する情報が存在しないことを確認いたしました。

7. 募集後の大株主及び持株比率

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	総議決権数 に対する所有 議決権数の 割合	割当後の 所有株式数 (株)	割当後の総 議決権数に 対する所有 議決権数の 割合
株式会社サンシャインシティ	東京都豊島区東池袋 3 丁目 1 - 1	723,000	25.15%	723,000	23.67%
三菱地所株式会社	東京都千代田区大手町 1 丁目 1 番 1 号	183,000	6.37%	183,000	5.99%
ソフトバンクロボティクス株式会社	東京都港区海岸 1 丁目 7 - 1 東京ポートシティ竹芝オフィスタワー	—	—	180,000	5.89%
株式会社テーオーシー	東京都品川区西五反田 7 丁目 22-17	100,000	3.48%	100,000	3.27%
外池 栄一郎	東京都千代田区	80,000	2.78%	80,000	2.62%
東宝ファシリティーズ株式会社	東京都千代田区有楽町 1 丁目 7 - 1 有楽町電気ビル北館 14 階	71,000	2.47%	71,000	2.32%
アール・エス・シー協力会社持株会	東京都豊島区東池袋 3 丁目 1 - 3 サンシャインシティワールドインポートマートビル 8 階	70,700	2.46%	70,700	2.31%
株式会社 S B I 証券	東京都港区六本木 1 丁目 6 番 1 号	65,000	2.26%	65,000	2.13%

金井 宏夫	埼玉県さいたま市南区	62,670	2.18%	62,670	2.05%
アール・エス・シー従業員持株会	東京都豊島区東池袋3丁目1-3 サンシャインシティワールドインポートマートビル8階	58,780	2.04%	58,780	1.92%

(注)1. 割当前の「所有株式数」及び「総議決権数に対する所有議決権数の割合」は、2025年9月30日現在の株主名簿を基準として記載をしております。

2. 「割当後の総議決権数に対する所有議決権数の割合」の算出にあたっては、2025年9月30日現在の所有議決権数を、2025年9月30日現在の総議決権数に割当後の株式の総数に係る議決権数を加算した数で除して算出しております。

3. 「総議決権数に対する所有議決権数の割合」及び「割当後の総議決権数に対する所有議決権数の割合」は、小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。

8. 今後の見通し

本第三者割当増資により今期の業績に与える影響については現在精査中であり、今後、公表すべき事項が判明した場合は速やかにお知らせいたします。なお、今回の調達資金を上記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期(2) 調達する資金の具体的な使途」に記載の使途に充当することにより、当社グループの企業価値の向上につながるものと考えております。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本第三者割当増資は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第440条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続は要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の連結業績(単位:百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高	6,028	8,097	8,845
営業利益	191	284	301
経常利益	198	300	310
親会社株主に帰属する当期純利益	128	245	187
1株当たり当期純利益(円)	44.22	84.05	64.97
1株当たり配当金(円)	15(うち中間5)	20(うち中間7)	24(中間7)
1株当たり純資産(円)	654.14	704.84	763.24

(2) 現時点における発行済み株式数及び潜在株式数の状況(2025年9月30日現在)

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	2,940,000株	100.00%
現時点の転換価額(行使価額)における潜在株式数	40,000株	1.36%
下限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	—	—
上限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	—	—

※ 1. 発行済株式に対する比率は、小数点以下第3位を四捨五入しております。

2. 潜在株式数は、全てストックオプションに係る潜在株式数です。

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
始値(円)	438	546	694
高値(円)	589	852	1,400

安値(円)	401	536	439
終値(円)	546	698	600

② 最近6ヶ月の状況

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
始値(円)	564	540	566	596	662	663
高値(円)	572	575	600	709	688	732
安値(円)	516	535	552	586	648	595
終値(円)	537	566	595	664	662	651

※ 各株価は東京証券取引所スタンダード市場におけるものであります。

③ 発行決議日前営業日における株価

	2025年11月13日
始値(円)	635
高値(円)	660
安値(円)	634
終値(円)	645

(4)直近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

① 2025年11月14日開示による第三者割当による新株式発行

(1) 払込期日	2025年12月4日
(2) 発行価額	1株につき653円
(3) 調達資金の額	117,540,000円
(4) 募集時における発行済株式数	2,940,000株
(5) 当該募集による発行済株式数	180,000株
(6) 募集後における発行済株式数	3,120,000株
(7) 募集又は割当方法(割当予定先)	第三者割当の方法によります ソフトバンクロボティクス株式会社180,000株
(8) 発行時における資金使途	運転資金:116百万円
(9) 発行時における支出予定時期	2025年11月～2025年11月
(10)現時点における充当状況	運転資金:116,820,000円

11. 発行要領

(1) 株 式 の 種 類 及 び 数	普通株式 180,000株
(2) 払 込 金 額	1株につき653円
(3) 払 込 金 額 の 総 額	117,540,000円
(4) 増 加 す る 資 本 金	58,770,000円
(5) 増 加 す る 資 本 準 備 金	58,770,000円
(6) 募 集 方 法	第三者割当による方法
(7) 申 込 期 日	2025年12月1日～2025年12月3日
(8) 払 込 期 日	2025年12月4日
(9) 割 当 予 定 先 及 び 割 当 株 式 数	ソフトバンクロボティクス株式会社 180,000株
(10) そ の 他	上記各号については、金融商品取引法に基づく有価証券通知書の効力が発生していることを条件としています。

以 上